

### 事務事業評価シート(平成26年度実績分)

#### (1) 事務事業の名称・位置づけ [Plan1]

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当係長名
54221	図書館管理運営事業	教育委員会	図書館係	桑澤 英明	吉澤志津江
		一次評価年月日	平成 27 年 5 月 28 日	連絡先〔内線〕	2550
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分		予算コード	事業名(歳出予算見積書)
		<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	1052	図書館管理運営事業	
	第五次総合計画前期基本計画の 施策体系における位置づけ	章	(コード選択)	5章	学びあいと育てあいのまちづくり
		節	(コード選択)	4節	生涯学び続けられる環境の充実
		項〔基本施策〕	(コード選択)	2項	社会教育活動の推進
		目〔主な施策〕	(コード選択)	2目	図書館のサービス向上
	関連する計画等への位置づけ	<input checked="" type="checkbox"/> 第五次行財政改革大綱	<input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画	<input type="checkbox"/> 主要業務報告	<input type="checkbox"/> その他
事務期間	(開始) T10 年度 ~ (終了予定)	年度	<input type="checkbox"/> 開始時期不明	<input checked="" type="checkbox"/> 終期設定なし	

#### (2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。)[Plan2]

①対象(誰のために).....この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

住民、辰野町在勤在学者、図書館利用者

②目的(意図)(どんな状態にしたいか).....この事業を実施することにより、対象をどういう状態にしたいのですか。

住民の皆さんが幸せで満ち足りた生活を過ごせるよう手助けを行う。また、赤ちゃんから児童向けのサービスを充実させ、将来にわたって「本は良いもの」とするライフスタイルの基礎形成の手助けをする。

③手段(事業内容)(どうやって).....上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、実施した行政活動(対象に対する働きかけ)を記入します。

- 地域の情報拠点として、情報を蓄積保管するとともに、読書施設として、静謐で快適な環境を提供できるよう、館整備を行う。
- 貸出業務、レファレンス業務、蔵書管理等の通常業務を正確に的確に行う。
- より広範な方々に利用していただけるよう、開館日数を増やすとともに、児童や一般を対象とした集会活動などを積極的に行う。
- サービス充実のためにボランティア活動を拡充し、ボランティアの資質向上にも務める。

#### (3) 活動指標の設定と推移.....(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。[Do1]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		25年度	26年度	27年度(見込み)	達成率	27	年度(見込み)	
①	指標名	蔵書数	冊	63,386	62,014	63,000	0.98	63,000
	説明	所蔵する資料の数	算出方法・計算式・目標値設定の考え方等	施設のキャパシティによる				
②	指標名	貸出数	冊	85,703	87,429	87,000	1.00	87,000
	説明	図書館資料貸出数	算出方法・計算式・目標値設定の考え方等	実績より見込む				

#### (4) 成果指標の設定と推移.....(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。[Do2]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		25年度	26年度	27年度(見込み)	達成率	27	年度(見込み)	
①	指標名	利用者数	人	21,253	21,433	21,400	1.00	21,400
	説明	図書館資料利用者数	算出方法・計算式・目標値設定の考え方等	実績より見込む				
②	指標名	入館者数	人	63,594	60,920	63,000	0.97	63,000
	説明	図書館入館者数	算出方法・計算式・目標値設定の考え方等	実績より見込む				

#### (5) 総事業費(コスト)の推移 [Do3]

※事業費の算定方法  決算書・予算書等に記載の数字  按分計算による算定

○総事業費(コスト概算) =①+②	(千円)	平成24年度決算	平成25年度決算	平成26年度決算	平成27年度見込み
		35,606	35,787	34,917	36,946
対前年比	%	/	100.5	97.6	105.8
A) その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)		100	100	100	100
B) 一般財源(税金)		35,506	35,687	34,817	36,846
①事業費	(千円)	20,926	20,709	19,824	19,573
対前年比	%	/	99	95.7	98.7
②人件費の概算	(千円)	14,680	15,078	15,093	17,373
対前年比	%	/	102.7	100.1	115.1
		年間人件費	年間人件費	年間人件費	年間人件費
		H25 H26 H27	H25 H26 H27	H25 H26 H27	H25 H26 H27
町職員(正規職員)		0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	1.00 1.00 1.00	0.00 0.00 0.00
臨時職員		人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算シート)			0.00 0.00 0.00
		7,960	8,039	8,033	8,044
		6,720	7,039	7,060	9,329

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果	
妥当性	1. 事業に対する町民のニーズに変化はありますか	A	A 増加傾向にある C 減少傾向にある	B 変化していない D かなり減少している 住民ニーズの具体的な把握方法をお書きください 図書館協議会委員、ボランティアから随時、図書館講座受講者から終了時にアンケート
	2. 国・県・民間との役割分担から、町が事業を実施する必要がありますか	A	A 町が主体となる必要がある C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる	B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 D 必要性がない
	3. 対象(受益者)の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である B 対象の変更の余地がある	Bの場合、その具体的な内容をお書きください
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある	Bの場合、その具体的な内容をお書きください
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	B	A 期待したとおりの成果があった B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない	C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください
効率性	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	A	A すでに実施している B 今後は可能性がある C 今後も可能性はない	A・Bの場合、その具体的な内容をお書きください 町内小中学校図書館との連携 上伊那7市町村でのシステム共有化
	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	A	A 余地なし B 当面は余地なし C 一部余地あり D かなり余地あり	C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	A	A 検討の余地なし B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり D かなり検討の余地あり	C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください
その他	9. 民間企業・住民団体との協働の可能性はありますか	A	A すでに実施している B 可能 C 困難 D 検討中	A・Bの場合、その具体的な内容をお書きください 読書支援活動、環境整備、図書装備作業へのボランティアが定着している。 また、学校図書資料装備を、今年度からボランティアが行うようになった。

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) **口**を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する     イ. 見直しのうえで継続する     ウ. 終期設定     エ. 廃止     オ. 休止

<今後の展開方針>(イを選択した場合のみ口を一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)  
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)  
 c 効率化を図る(コストを下げる)  
 d 縮小する(簡素化する)  
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業の方向性の具体化

改革改善案(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等を記入します。)	27年度予算見積書への反映 <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
平成27年度中に、ハード面ソフト面から館環境を向上させる。、ウィークデーの祝日開館を実施し開館日を増やすことにより、利用者の利便を図る。読書支援ボランティアの養成・研修は継続して行う。	[反映内容] 図書館システム更新費用、書棚購入費用、図書資料購入費用、臨時職員人件費

(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)	上位の施策の推進に貢献していますか。口をチェック
多くの町民が気軽に訪れつづける図書館を目指すために、利便性の向上はもとより、各種団体等と連携して事業に取り組む。読書離れを防ぐためにも読書支援ボランティアの活用を図っていく。開館以来30年が経過していることから施設改修に取り組んでいく。	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献度 大 <input type="checkbox"/> D. 上位施策なし <input type="checkbox"/> B. 貢献度 中 <input type="checkbox"/> C. 貢献度 小

(今後の方向性 **口**を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持     イ. 見直しのうえで継続する     ウ. 終期設定     エ. 廃止     オ. 休止

上記 a~e を選択